

教科・科目（単位数）	国語・現代の国語（ 2 ）	学年	1 年
使用教科書・副教材等	現代の国語（大修館書店）国語便覧改訂版（大修館書店）常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）	集団	全
農業高校における 国語科としての目標 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 科目の目標 （１） 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２） 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３） 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語彙を増やし、話や文章の中で適切に使用することができる。 ・主張と論拠など情報と情報の関係を理解することができる。
②思考・判断・表現	・「話し言葉」の特徴を踏まえ、自分の考えが的確に伝わるように話することができる。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、語句や文体を適切に選び、文章を作成することができる。 ・文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、用紙や要点を把握することができる。
③主体的に学習に取り組む態度	・「話し言葉」「書き言葉」の特徴を踏まえて、それぞれの場に応じた形で自分の考えを適切に表現しようとしている。
評価方法	ワークシート・小テスト・定期テスト・観察

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	1 明日を開く ・「白紙」	"・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢を作る。			○
		・相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける。"	○		
5	2 文章の要点をつかむ ・「水の東西」	・叙述を的確にとらえる。		○	
		・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。	○	○	
	3 的確に伝える ・伝わるように話す ・わかりやすく書く	・話し言葉の特徴を知る。	○		
		・聞き手が理解しやすい説明のしかたを考え、過不足なく伝える。		○	○

6	5 論理をとらえる ・「動的平衡としての生物多様性」	・主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。	○		
		・演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる。		○	
7	4 意見を示す ・「意見を書く」	・構成や展開を意識して文章を書く。		○	
		・根拠を明確にして、自分の意見を書く。		○	○
9	8 他者と交流する ・「目的に沿った質問をする」 ・状況に応じた通信文を書く」	・質問の目的を明確にする。 ・目的に沿った質問をして知りたかったことへの理解を深める。		○	○
		・通信文の基本的なルールを知る。 ・相手や場面に応じた通信文を書けるようになる。	○	○	
10	6 魅力的に伝える ・「工夫して話す」	・相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 ・声の強弱や話す速度、間の取り方などを意識して話したり聞いたりする。	○	○	
		・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	○		
		・統計資料を正確に読み取り、読み取った情報を組み合わせたり、比較したりして、的確な主張を生み出す。 ・統計資料を根拠として、自分の主張を書く。		○	○
11	9 情報を比較する ・「空気を読む」「『個人』から『分人』へ」	・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。		○	
12	11 主張を吟味する ・「文章を読み取って主張を書く」	・他者の主張をふまえて、自分の考えを書く。		○	○
1	12 考えを発信する ・「白」 ・結論を出すために話し合う	・目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。	○	○	
		・読み取った情報を活用し、話し合いをする。	○	○	○
2	10 他者を動かす ・説得力のある資料をつくる ・資料を用いて発表する	・提案を検討する際に必要な要素を押さえる。	○		
		・効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫する。	○	○	
		・聞き手の心を動かす話し方を工夫する。		○	○
		・資料にもとづいて、効果的に発表する。		○	

教科・科目（単位数）	国語・言語文化（２）	学年	１ 年
使用教科書・副教材等	・「新編 言語文化」（大修館書店） ・「新編 言語文化 学習ノート」（大修館書店） ・常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）	集団	全クラス
農業高校における国語科としての目標 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる 科目の目標 （１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	・我が国の言語文化の特質や外国の文化との関係が理解できる ・我が国の言語文化に特徴的な語句や文化背景についての理解を深める。
②思考・判断・表現	・文章の内容や展開、展開についての的確に捉えることができ。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えて解釈することができる。 ・自分の知識や体験をもとに、思いを効果的に伝えられる表現の工夫ができる。
③主体的に学習に取り組む態度	・我が国の言語文化に興味を持ち、作品世界を積極的に理解しようとしている。 ・言葉や表現技法に興味を持ち、知識を活用する意欲をもっている。
評価方法	提出物（課題・ワークシート・ノートの内容）、小テスト、定期テスト、授業への取り組み

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	言葉の森を育てよう	・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。		○	
5	古文への招待 いろは歌 古文冒頭選	・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。	○		○
6	宇治拾遺物語 稚のそら寝	・音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。	○	○	○
7	枕草子 うつくしきもの	・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。			

9	訓読のきまり／格言 ／再読文字	・ 漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・ 漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。	○	○	
10	五十歩百歩	・ 「五十歩百歩」という言葉の意味について、考えを深める。 ・ この話で語られている教訓の意義を理解する。	○		○
11	羅生門 ◆参考『今昔物語集』 卷第二九第一八	・ 小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・ 元になった古典作品との比較をふまえて、内容の解釈を深める。	○	○	○
12	伊勢物語 筒井筒／ 芥川	・ 登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・ 和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。	○		○
1					
2	借虎威	・ 「虎の威を借る狐」という言葉の意味について、考えを深める。 ・ この話で語られている教訓の意義を理解する。	○		

教科・科目（単位数）	国語 ・ 文学国語 （ 2 ）	学年	2 年
使用教科書・副教材等	新編 文学国語 （大修館書店）	集団	全HR・コース
農業高校における国語科としての目標 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 科目の目標 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。
②思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。
③主体的に学習に取り組む態度	・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。 ・作品に興味を持ち、作品の世界を理解したり作品の表現を味わったりすることができる。
評価方法	ワークシート・小テスト・定期テスト・観察

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	少なくとも最後まで歩かなかった	・筆者が大切だと考えていることを読み取り、理解する。	○	○	
		・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。			○
5	晴れた空の下で	・本文の描写や言葉遣いから「わし」の性格や心情をとらえる。		○	○
		・語句のはたらきに注目して読む。	○		
6	児の飴食ひたること	・話のおもしろさと教訓をとらえる。		○	○
		・基本的な古文の意味を理解する。	○		

7	永訣の朝	・詩に表された作者の心情を読み味わう。		○	○
		・詩のさまざまな表現と、その効果について考える。	○	○	
	〔書く〕言葉でスケッチ②魅力を言葉で表そう	・ものの魅力を伝える言葉を探し、語彙を豊かにする。	○		
		・読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く		○	○
9	山月記	・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める		○	○
		漢文訓読調の文章の魅力を味わう。	○		
10	その日東京駅五時二十五分発	・心情や情景描写に注意して読む。	○	○	
		・「ぼく」が戦争についてどのように感じ、考えているかを読み取る。		○	○
11	はしたなきもの 行く川の流れ	・作品に表れている作者の考え方や感性を捉える。		○	○
		・古典に関する知識を使って文章の内容を理解する。	○		
12	思いを言葉に①エッセイを書こう	・不特定の読み手を想定し、自分の思いを表現したエッセイを書く		○	
		既存の作品も参考にしながら、構成や表現を工夫して書く。			○
12	神去なあなあ日常	登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る	○	○	
		仕事や自然に対する描写を読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。			○
	現代の恋／近代の恋／古典の恋	・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。		○	○
		・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。"	○		

教科・科目（単位数）	国語 ・ 論理国語 （ 2 ）	学年	2 年
使用教科書・副教材等	新編論理国語 （大修館書店）常用漢字ダブルクリア（尚文出版）	集団	2学年（全コース）
農業高校における国語科としての目標 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 科目の目標 （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。
②思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 書くことにおいて、根拠とする情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。
③主体的に学習に取り組む態度	積極的に学習に取り組み、文章の構成方法や資料の使い方など表現の方法にも目を向けながら内容を理解しようとしている。 文章を書くことに興味を持ち、論理的な文章構成や効果的な表現方法を使って表現をしている。
評価方法	ワークシート・小テスト・定期テスト・観察

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	1 論理と出会う	・「論理」についての筆者の考えを読み取る。		○	
	「論理的な人」とはどういう人か	・筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもつ。			○
5	2 具体と抽象 ウサギの耳はなぜ長い？ 【フォーカス】具体と抽象を使いこなそう	・具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。	○		
		・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。		○	
		・具体と抽象の関係について、理解を深める		○	○
6		・内容を具体化してわかりやすくしたり、抽象化してまとめたりする。	○		
	3 対比を捉える	・対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。	○		

7	デジタル地図から見える世界	・文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。		○	○
	【フォーカス】対比を使って主張する	・効果的な対比の用い方について、理解を深める。	○		
		・主張を支えるための対比の用い方を考える。		○	○
9	4 主張をつかむ 人工の自然—科学技術時代の今を生きるために	・主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。	○		
		・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。"		○	
10	【フォーカス】要約の方法	・文章のキーワードや、主張と根拠の関係を的確にとらえて要約する。		○	○
	5 論理的に書く ・根拠をふまえて主張を書こう。 ・構成を考えて書こう。	・根拠を明示しながら論理的に主張を書く。		○	○
		・接続表現を適切に使って、論理的な文章を書く。	○	○	
・基本的な小論文の型を理解する。		○			
11	6 統計資料を活用する ・文章と資料を関連付けて読む ・量の時代から質の時代へ	・文章と統計資料の関係について考えを深める。		○	
		・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。	○		
		・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。		○	○
12	7 比べて読む ・情報を比較・整理する	・情報を比較・整理する方法について考えを深める。	○	○	
		・情報を比較・整理しながら、異なる立場の主張を読み取る。		○	
1	・紙の本はなくなる ない	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。		○	○
		・具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。		○	
2	・情報化と紙の本のゆくえ 【フォーカス】比べて読もう	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。		○	○
		・具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。	○	○	
		・二つの文章を比べて読み、自分の考えをもつ。		○	○

教科・科目（単位数）	国語 ・ 文学国語 （ 2 ）	学年	3 年
使用教科書・副教材等	新編 文学国語 （大修館書店）ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）	集団	全HR・コース
農業高校における国語科としての目標 国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 科目の目標 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。
②思考・判断・表現	・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。
③主体的に学習に取り組む態度	・作者の考え方や比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。 ・作品に興味を持ち、作品の世界を理解したり作品の表現を味わったりすることができる。
評価方法	上記①～③は2年次の文学国語と共通する。これをさらに発展充実させることが、最終学年におけるねらいである。 ワークシート・小テスト・定期テスト・観察

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	クルミの小部屋	・筆者の家族観や、家族間の心情の機微を読み取る。	○	○	
		・文体の特徴や比喩の効果について考える。			○
5 6	こころ	・優れた表現に触れ、読み味わう。	○	○	
		・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。		○	○
7	短歌・俳句	・形式や表現に注意して、短歌・俳句を詠み味わう。 ・短歌と俳句を創作する。	○	○	○

9	共感と驚異	・筆者の考える、短歌が人を感動させるための方法を読み取る。	○	○	
		・引用された作品を読み、筆者の主張を確認する。			○
10	山椒魚	・擬人化された山椒魚と蛙を通じて、閉ざされた世界における人間関係について考える。		○	○
		・さまざまな表現と、その効果について考える。	○	○	
11	夏の月	・筆者の考える夏の月の良さをとらえる。	○	○	
		・引用された作品を読み、解釈を深める。		○	○
12	私たちの黄色 タイムリミット	・さまざまな小説を読み、構成や表現の工夫を読み取る	○	○	
1	書斎	・さまざまな小説を読み、構成や表現の工夫を読み取る	○	○	

教科・科目（単位数）	国語 ・ 論理国語 （ 2 ）	学年	3 年
使用教科書・副教材等	新編論理国語 （大修館書店） 常用漢字ダブルクリア （尚文出版）	集団	2学年（全コース）

農業高校における国語科としての目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

科目の目標

- （１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- （２）論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。
②思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらか要旨を把握している。 書くこと」において、根拠とする情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。
③主体的に学習に取り組む態度	積極的に学習に取り組み、文章の構成方法や資料の使い方など表現の方法にも目を向けながら内容を理解しようとしている。 文章を書くことに興味を持ち、論理的な文章構成や効果的な表現方法を使って表現をしている。

評価方法	ワークシート・小テスト・定期テスト・観察
------	----------------------

学習計画

月	単元	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	1 自己を見つめて	・現代社会において、将来どのような生き方をしていきたいか考える。		○	
	・補助線を引きながら考える	・今後を生きていく上で、わからないことに対して、問い、考え続けていくことの大切さを理解する。		○	○
5	2 思考を深める	・根拠の妥当性を吟味することで、より深く物事を考える。	○	○	
	・和の思想、間の文化	・主張と根拠の関係を吟味する。	○	○	
6	・ミロのヴィーナス	・主張と根拠の結びつきについて多角的な面から考察することができる。	○		○
	【フォーカス】根拠を吟味しよう	・主張の正しさや説得力を論理的に見極める力をつける。	○		
7	社会に向かって	・進路活動に必要な書類を知り、書き方の基本を身につける。	○		
	・志望理由書を書こう	・それぞれの書類に応じた魅力的で説得力のある文章を書く力を身につける。	○		○

9	4 視点を変えて ・ 人類の進化から考える「心」の誕生 ・ ロボットに心はあるか ・ クオリアと心 【フォーカス】対比を使って主張する	・ 一つのテーマについて、複数の視点に立って考察する姿勢を養う。	○	○	○
		・ 「心」について異なる視点で書かれた文章を読み、それぞれの筆者の視点を的確にとらえ、内容を理解、分析することで、自らの思考を深める。			
10		・ 複数の文章を比較し、分析する。		○	
11	5 問いを深めて書く ・ テーマ型小論文 ・ 課題文型小論文 ・ データ型小論文	・ 特定の抽象的なテーマから自ら問いを立て、小論文を書く力を身につける。	○	○	
		・ 課題文を読み取って、論点を的確に見出し、論理的に意見を書く力を身につける。	○	○	
		・ 統計資料を読み取って、論点を的確に見出し、論理的に意見を書く力を身につける。	○	○	
12	6 現代を考える ・ 「である」ことと「する」こと 【フォーカス】話し合っって考えを深めよう	・ 現代社会の諸問題に関心をもち、そこから自分なりの問いを立てる。		○	○
		・ 明快な対比構造から、日本社会のさまざまな諸相を分析する。	○	○	
		・ 生徒それぞれの興味関心を深める。			○
1	7 未来に目を向けて ・ 人口減少社会の到来 ・ 未来の地図帳	・ 日本や世界が抱える課題に関する文章を読み、社会への関心を高める。		○	
		・ 統計資料を読み取った内容を材料として論理的に述べられている点を読み取る。	○	○	
		・ さまざまな数値データを根拠として用いて論理を展開している点を読み取る。	○	○	○